

女子ラグビーW杯
まもなく開幕!

ラグビーの聖地

アリアンツ・スタジアム を征く



■ラグビー発祥の地、イングランド。ロンドン郊外のトゥイッケナムには、世界中のラグビー選手やラグビーファンたちが憧れる「聖地」がある。「女子ラグビー・ワールドカップ2025イングランド大会」(8月22日～9月27日)が間近に迫った今回は、ラグビーの歴史と未来が詰まった同スタジアムをご紹介します。

ロンドン南西部のトゥイッケナムにあるラグビー専用の競技場「アリアンツ・スタジアム (Allianz Stadium)」。イングランド・ラグビー協会(RFU)が所有し、イングランド代表の試合や国際大会といった「ビッグマッチ」が開催されるスタジアムだ。1909年にオープンした同スタジアムは8万2000席もの観客席数を誇り、ラグビースタジアムとしては世界最大。「サッカーの聖地」と呼ばれるウェンブリー・スタジアムに対し、「ラグビーの聖地」と称されている。

同所はこれまで長きにわたり、「トゥイッケナム・スタジアム (Twickenham Stadium)」という名で知られてきたが、ドイツの大手保険会社「アリアンツ」と長期パートナーシップ契約を結んだため、昨年9月からは「アリアンツ・スタジアム」と改名している。

さて、19世紀半ば頃に正式にスポーツとして認められたラグビーだが、本場の英国で暮らしていても、ルールを知らない人は意外と多いだろう。最低限のルールとして、①1チームの人数は15人、②試合時間は前・後半40分ずつ、③ラグビーボールを前に投げる／落とすのはNG、④ボールを抱えてトライするか、ボールが相手のゴールポストを通過すれば得点——ということだけでも覚えておけば、試合をより楽しめるはずだ。

22日から始まる女子ラグビーW杯には過去最大の16カ国が出場し、A～Dの4組(プール)に分かれて1次リーグを戦うことになる。昨年の女子アジア・ラグビー・チャンピオンシップの優勝国である日本代表「サクラ15」(サクラ・フィフティーン)はプールC。



W杯の開催へ向けて、芝の張り替え作業中。
8万2000人の収容が可能な、世界最大のラグビー・スタジアム。



選手たちのピッチへの入退場通路。出入り口には、イングランド代表チームのエムブレム「赤いバラ」が描かれている。



【プールC】 チーム JAPAN 対戦スケジュール

8月24日(日) 12:00 キックオフ
会場: Franklin's Gardens, Northampton
アイルランド vs 日本

8月31日(日) 14:00 キックオフ
会場: Sandy Park, Exeter
ニュージーランド vs 日本

9月7日(日) 12:00 キックオフ
会場: York Community Stadium, York
日本 vs スペイン

各プールでの総当たり戦で勝ち抜いた上位2チームが、準々決勝へと進出する。

今大会では、イングランド全土のスタジアムで試合が開かれ、アリアンツ・スタジアムで行われるのは決勝戦と3位決定戦（ともに9月27日）のみ。この2試合のチケットは完売してしまっているものの、W杯開催期間中はBBCで全試合が放映される予定なので、トウィツケナムで戦う「サクラ15」の雄姿を見ることができると信じて、彼女たちの活躍に期待したい。

またアリアンツ・スタジアムでは、試合がない日にはRFU所属ガイドによる見学ツアーも年間を通して行われているので、ぜひ参加してみたい。ラグビーやスタジアムの歴史、選手たちのロッカールームやピッチへの入退場通路のほか、王室メンバーや首相、国賓らが使用するVIPルームなどにも入ることができる（写真撮影も可能）。今回、取材のために同ツアーに参加したが、ラグビーファンはもちろん、ラグビーをよく知らなくても、ツアーが終わる頃には試合を観てみたくなるくらいに充実した時間を過ごすことができた。

せっかく英国にいるのだから、この晩夏は思いっきりラグビーを応援しよう！

裏側を知れば、
試合がさらに
楽しくなる！

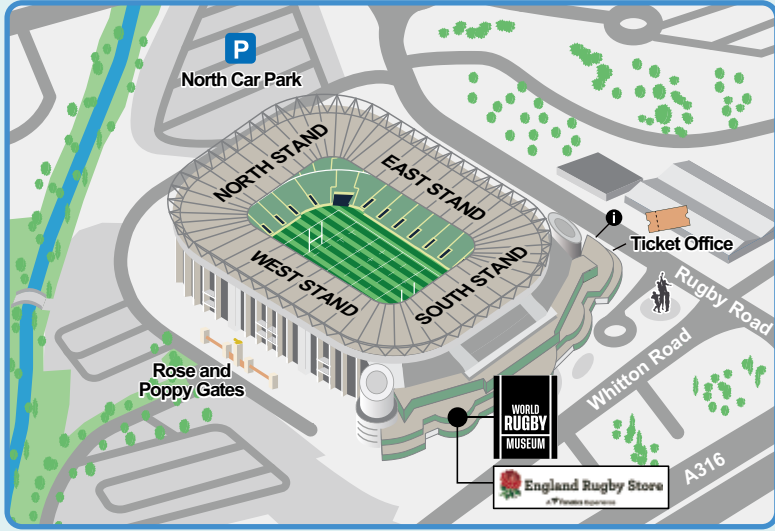
スタジアム・ツアーに 参加してみた

■ イングランド・ラグビー協会所属のガイドが案内してくれるスタジアム見学ツアーがあると聞き、取材班はオンラインで事前予約。集合場所はラグビースタジアム内。ガイドの笑い溢れる軽妙なトークで、ラグビーの知識がほとんどなくても、あっという間に 90 分が経ってしまった。

選手&VIP専用の エントランス・ゲート



▲門の柱の上部に鎮座するのは、金色のライオン。もともとはウェストミンスター地区にあったビール醸造所「Lion Brewery」の像だったが、移設された。



VIP ルームへと続く階段に…



王室メンバー、首相や大統領、国賓などが食事しながら試合を観戦できるガラス張りのVIPルーム (President's Suite) や、イングランド・ラグビー協会の会長室へと続く階段。ワールドカップ参加国のエンブレムの絵柄が螺旋を描きながら飾られている中に、日本の3輪の桜を発見！

ツアーの中で印象に残ったのが、スタジアムの正面玄関「Rose and Poppy Gates」(バラとポピーの門)。イングランド代表のシンボルのバラと、ポピーが彫られた鉄製の門はドイツ軍の砲弾から造られ、第1次世界大戦で戦死した選手を追悼したもの。選手はここからスタジアムに入るの、試合当日は多くのファンが列を成している。

選手のロッカールーム



イングランド代表らが使用する、選手たちのロッカールーム。向かいには選手がテーピングを巻くフィジオ・スペースやシャワールームがある。至る所に「Teamwork、Respect、Enjoyment、Discipline、Sportsmanship」の文字が見られる。

ラグビーファンが集まるパブ The Cabbage Patch



トウィッケナム駅からスタジアムまでは、徒歩約 15 ～ 20 分。スタジアムとは逆方向に 3 分ほど歩くと、試合当日にラグビーファンが集結するパブ「The Cabbage Patch」(キャベツ畑) がある。スタジアムがある場所は、かつてキャベツ畑だった。

67 London Road,
Twickenham TW1 3SZ
www.cabbagepatch.co.uk



Allianz Stadium (旧 Twickenham Stadium)

200 Whitton Road,
Twickenham TW2 7BA

最寄り駅: Twickenham

<https://allianzstadiumtwickenham.com>

Stadium Tour & Museum £30

10:30、12:30、14:30 ～

(試合がない日は毎日催行/要予約)

<https://worldrugbymuseum.com>

※ オフィシャル・ストアに集合後、ガイドの引率でツアー開始。ツアー終了後は、各自ミュージアムへ入館できる。